

第304圖

すしかづら科



おほぼへうたんぼく
一名 あらげへうたんぼく
Lonicera strophiphora Franch.
(= *L. pilosa* Maxim.)

中部以北ノ深山ニ自生スル落葉灌木。高サ2mニ達ス。葉ハ卵狀橢圓形、先端ハ漸次尖リ、底部ハ圓ク、膜質且硬質ニシテ兩面共ニ開出セル粗毛ヲ布キ、短柄アリ。五月、新葉ト共ニ開花ス。花梗ノ基部ハ多數ノ大形鱗片ニ包マル。花ハ豐大ニシテ長サ2cmヲ超エ下向シ、漏斗狀ヲ成シ、基脚ニ膨出部ヲ有シ、淡黄色ヲ呈シ、稍整形ニシテ裂片五箇ハ同大ナリ。子房ハ二箇ヅツ離レ相並ビテ出デ有毛ナリ。其基部ニハ大ナル尖レル卵形ノ二苞ヲ具フルノ殊徴アリ。熟シテ紅色ノ圓キ漿果ヲ結ブ。和名大葉飄簾木ハ徳川時代ニ名ケラレタル本種最舊ノ和名ナリ。荒毛飄簾木ハ明治時代ニ名ケラレ其葉ノ粗毛ニ基キシ名ナリ。

第305圖

すしかづら科



きだちになんごう
一名 たうになんごう・てうせんにんたう
Lonicera affinis Hook. et Arn.
var. *mollissima* Makino.
(= *L. mollissima* Bl. ; *L. affinis* Hook. et Arn. var. *pubescens* Maxim. ; *L. hypoglauca* Miq.)

南方暖地ノ海岸ニ近キ林中ニ生ズル纏繞性ノ灌木。嫩キ時ニハ莖・葉共ニ長キ淡褐色ノ絹毛ヲ被ル。葉ハ短柄アリテ對生シ、卵形或ハ長卵形ニシテ鋭ク尖リ、底部ハ多クハ圓ク、革質ニシテ表面濃綠色、光澤アリ、細脈ハ稍凹ム、裏面ニハ短絨毛ヲ密布シ又紅色ノ腺點ヲ布ク。七月、每葉腋ニ一梗ヲ出ダシテ二乃至四花ヲ直立ス。基部ニ二苞並ニ四小苞アリ。花ハ兩唇細筒、長サ5cm内外、すしかづらノ花ニ似テ、瘦細、上唇ハ闊クシテ四淺裂シ、下唇ハ細クシテ卷キ、初メ白ク後ニ黃化ス。五雄蕊、一雌蕊共ニ挺出ス。子房ハ下位ニシテ二箇相並ビテ無柄、漿果ハ黒色、廣橢圓形ヲ呈シ頂ニ短嘴ヲ成ス。和名木立忍冬ハ灌木狀ヲ成セルヨリ云ヒ、唐忍冬・朝鮮忍冬ハ共ニ國外品ト誤認セシ名ナリ。

第306圖

すしかづら科



つきぬきにんごう
Lonicera sempervirens Ait.

北米原産ノ常緑藤本ニシテ觀賞品トシテ栽培ス。長サ3m餘ニ達シ、多ク分枝ス。葉ハ對生シ、倒卵形ニシテ鋸齒ナク、花下ニアル上葉一二對ハ葉脚癒合シ、宛ラ莖ヲ以テ之ヲ貫ケル態アルニ因リ其和名ヲ有ス。五月頃枝梢上ニ層ヲ成シテ美麗ナル帶黃紅色ノ花ヲ輪生ス。花冠ハ長漏斗狀ヲ成シテ先端五裂シ、長サ2cm許、五雄蕊一花柱ヲ有ス。子房ハ下位。

こつくばね

一名 つくばねうつぎ・ひめつくばね・うさぎかくし

Abelia spathulata Sieb. et Zucc.

諸國ノ淺山ニ多キ落葉灌木ニシテ枝極多シ。高サ1-2m、嫩枝ハ赤褐色ヲ呈シ概ネ平滑光澤ナレドモ老成スレバ表皮ハ不規則ニ割レ眼ヲ生ジ灰色ヲ帶ブ。葉ハ卵形或ハ卵狀橢圓形ヲ呈シ長サ2-3cm、短柄ヲ以テ對生シ、上半疎波狀鋸齒アリテ先端ハ鋭尖、裏面ハ淡色ニシテ中脈下半ニ白鬚毛ヲ密生ス。五月頃、枝端三五花集リテ緊緻花序ヲ成シ、黄白色ニシテ美ナリ。萼片ハ狹長橢圓形ニシテ五箇。花冠ハ筒狀鐘形、長サ2.5cm内外、筒部ノ下部ハ細ク、中邊ヨリ腹面ノミ至ミテ膨出ス、鉸部ハ左右相稱ニシテ五淺裂シ、裂片ハ開出シ鈍頭ヲ成シ、下側ノ者内面ニ濃黃斑アリ。五雄蕊開在シ、一花柱ハ雄蕊ヨリ高シ。子房ハ下位、細長、有毛、無柄。和名小衝羽根ハやくだん科ノつくばねニ對セル古來ノ稱ニシテ衝羽根ハ其果實ノ頂ニ幅狀ヲ成セル宿存五萼片ヲ冠セル狀ニ基ク、衝羽根空木ノうつぎハ其樹ウツギノ態アレバ云ヒ、兎隠シハ其枝葉繁密ニシテ兎ヲ隠蔽スルニ足ルノ意ナリ。

第307圖

すしかづら科



きばなこつくばね

誤稱 こつくばねうつぎ

Abelia serrata Sieb. et Zucc.

本邦中部以西ノ山地ニ分布スル多枝繁葉ノ落葉灌木。新條ハ赤褐色ナレド、二年目ヨリ淡褐色ト成リ且不規則ニ開裂ス。葉ハ對生、卵狀披針形或ハ卵形、長サ2-4cmヲ算シ上半部ニノミ鈍鋸齒アリ。表面深綠色ニシテ光澤アリ往々紫染ス。裏面ハ淡色、中脈ニハ白絨毛ヲ布ク。花序ハ枝端ニ出デ二乃至七花ヲ頭狀ニ着ケ、五月ヨリ七月ニ互リテ開ク。萼筒ハ下位子房ト癒合シ細長。萼片ハ二箇或ハ三箇、橢圓形ニシテ鈍頭ナレドモ時ニ一ニ鈍鋸齒ヲ刻ム。花ハ1-2cm長アリテ漏斗狀ヲ成シ淡黄色ヲ呈シ、先端五裂シ左右相稱ナリ。雄蕊ハ五箇アリテ花冠ノ漏斗部ヨリハ短シ。つくばねうつぎニ似タリト雖ドモ萼片少數ニシテ容易ニ兩者ヲ區別シ得。一變種ニろっかふきばなこつくばね (var. *viridiramea* Makino) アリ、枝葉全然綠色ニシテ攝州六甲山ニ産ス。和名ハ黃花小衝羽根ノ意ニシテ其樹小衝羽根ニ似テ其花黄色ナレバ斯ク云フ、今日之レヲこつくばねうつぎト云フハ誤ナリ。

第308圖

すしかづら科



りんねさう

一名 えぞありどほし・めをとばな

Linnaea borealis L.

高山ニ生ズル草狀ヲ呈セル矮小灌木。莖ハ地上ヲ匍ヒ、針線狀ニシテ二列ニ葉ヲ對生ス。葉ハ倒卵形又ハ廣橢圓形、長サ1cm許、短柄ヲ具ヘ、常緑ニシテ邊緣上半ニ少數ノ鋸齒アリ。花ハ七月ニ開キ高サ5-10cm許ニ直立セル枝端ニ頂生シ、常ニ二箇ヅツ微腺毛アル細梗ヲ以テ左右ニ相並ビ點頭ス。萼片ハ四箇、萼筒ハ卵狀橢圓形ニシテ腺毛アリ。花冠ハ漏斗狀鐘形ニシテ白質淡紅色ヲ呈シ、鉸部ハ五裂シ、二強雄蕊ヲ有シ其二本ハ短シ。子房ハ三室ヨリ成ル。和名りんね草ハ其學名ト共ニ近世植物分類學ノ基礎ヲ据エタル瑞典國りんね氏ヲ紀念セルナリ、蝦夷蟻通シハ北海道ニ産シテ草狀ありどほし狀ヲ成セバ云ヒ、めをとばなト花ハ夫妻花ニシテ其花對ヲ成セバ云フ。

第309圖

すしかづら科

